

2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成〈随時募集〉資金分配団体公募
今回採択には至らなかった申請団体・事業 一覧(全2事業、団体名五十音順) 2021年2月10日現在

団体名	所在地	申請事業名	対象地域	事業概要
一般財団法人 泉北のまちと暮らしを考える財団	大阪府	コロナ禍で加速するニュータウンの課題解決 【副題】近郊都市型包摂型社会モデルの構築	関西2府5 県、中国5 県のニュー ウータウン	まちびらき30年以上の全国のニュータウンでは新型コロナウイルスの影響により高齢者や若者など様々な住民の孤立が進んでいる。そのため、地域福祉分野に関する取り組みの回復は急務である。現場では地域の居場所のオンライン化や、食事等の宅配などソーシャルディスタンスを踏まえた新しい事業の再構築が必要である。そこでニュータウンにおける住民組織での取り組みに休眠預金助成を活用し、ニューノーマルでの再構築支援を推進する。また実行団体による地域内での横の連携を促すことで、悪化するニュータウンの住民生活の回復をめざし、持続可能な地域へ再生するモデルを育み、共有できるネットワーク構築を行なう。
公益財団法人東京コミュニティー財団 〈コンソーシアム申請〉	東京都	新型コロナウイルス対応社会的支援促進事業 【副題】いのちとところを守る支援活動の後押しを	全国域	今回の助成事業では、長期化するコロナ禍においてニーズが拡大しているが、公的な支援ではサポートが追いついていないメンタルサポート等への支援活動を、最重点対応領域として積極的に助成を行う。また、こころのケアを起点とする社会的支援活動領域(メンタルヘルスの不調から行き場を失い、孤立化している人々を救済するオフライン居場所づくり等)のうち、女性や子ども/青少年を中心とした人々の、いのちとところを守る社会的支援活動も助成対象に含める。具体的には、以下の活動への助成事業を行う。1.電話相談窓口の開設/ オンラインによるメンタルサポートの提供/ ホットライン対応など2.行き場を失い絶望の最中にある人々への住居支援/ 食事の提供 など3.withコロナ、アフターコロナを見据えた、孤立化を防ぐコミュニティ形成支援など4.その他、精神的疲弊に寄り添いケアするための仕組みづくりなどまた、READYFOR社との協力体制の元、各実行団体に対する資金の継続的な獲得サポートを実施する。